

## 宗像市の市営渡船「おおしま」

2022.9.23 事務局長 池田良穂

学生との造船所ツアーを終了した翌日から4日間ほど、九州と山口県の船を見て回ることになりました。まず最初に訪れたのは、宗像市(むなかた)の神湊(こうのみなと)で、玄界灘に浮かぶ大島と地島(じのしま)への市営渡船の乗場があります。本会出版の「日本の旅客船 2: 短距離航路客船」の編集時に、新しくなった「おおしま」(2017年建造)の写真を撮りに出かけた時には、前日にドックインのために港を離れていて撮影ができずに、本には建造所の前畑造船の写真を使わせてもらいました。そんなこともあったので、そのリベンジでした。宿泊していた門司からレンタカーで2時間ほどで神湊に到着。港の近くには魚介類を食べさせるレストランが点在していて、神湊の港口がよく見えるレストランで鯛茶漬の昼食をとりながら、入港船を待ちました。そして念願の「おおしま」の入港する姿をカメラに収めることができました。





市営渡船「おおしま」(198 総トン)で、小型の純客船「しおかぜ」(87 総トン)と「ニューじのしま」(55 総トン)と共に、3 隻で神湊と大島、地島を結ぶ航路に就航しています。カーフェリー型で 16 台の乗用車が積載できます。旅客定員は 245 名、速力は 13 ノットです。大島航路と地島航路の両方に就航しています。



市営渡船の「ニューじのしま」はアルミ合金製の純客船で、旅客定員 150 名、航海速力 16 ノットです。地島航路に就航していますが、建造が 2001 年ですので、そろそろ代替の時期でしょうか。

